



杉並社協のマスコット  
キャラクター「うえるくん」

# すぎなみ社協

No.147

広報紙「すぎなみ社協」は奇数月(5・7・9・11・1・3)10日発行です。  
ホームページでもご覧になれます。http://www.sugisyakyo.com

## 杉並社協 感謝のつどい

### 星守る犬

〈監督〉瀧本智行 〈原作〉村上たかし「星守る犬」  
〈出演〉西田敏行 玉山鉄二 川島海荷 ほか



© 2011 「星守る犬」製作委員会

#### 「こんなに切ないのに、心が温まるのはなぜだろう…」

原作の村上たかし氏の同名コミックは、2009年度には各メディアで「とにかく泣ける」「今年1番の感動作」という評価を得ました。名もなき男と犬の旅路を通して、人生の夢と挫折、老いと孤独、不況、リストラ、熟年離婚、無縁死など、現代のはらむ問題に鋭く斬り込みながらも、誰かとふれあい、ぬくもりと勇気を得て生きていく「人間のたくましさ」、そして、人と動物との間に生まれた家族愛を描いた物語です。

この一年の皆さまのご健勝ご多幸を祈念しております。

社協の課題は、やはり平常時の人々の暮らしをいかに安心で安全なものにしていくか、です。最終的には地域福祉の制度の中で、区や社協が区民の方々を支えていきますが、その前に人々がお互いに助け合い支え合っていくことが大切です。この人と人との関係・地域の絆を普段から強くしていくことが社協には求められています。

都市化の渦の中で人間関係が希薄化しているといっても、杉並区は、まだまだ十分にコミュニティの風が吹いています。杉並社協は今年も、会員の方々、民生委員児童委員そして町会自治会の方々とともに、このコミュニティの風をいたるところで起こし、地域福祉の礎を築いてまいります。今年こそ杉並だけでなく、日本中が喜びの笑顔で満ちあふれる年にしたいものです。

同時に、社会福祉協議会の役割の大きさも再確認いたしました。いざという時は、社協が即災害ボランティアセンターに早変わりし、全国のボランティアや支援物資が集まってくる。杉並社協も側面からではありませんが、南相馬市などを支援してまいりました。しかし、これはあくまでも有事の際の社協の役割です。

社協の課題は、やはり平常時の人々の暮らしをいかに安心で安全なものにしていくか、です。最終的には地域福祉の制度の中で、区や社協が区民の方々を支えていきますが、その前に人々がお互いに助け合い支え合っていくことが大切です。この人と人との関係・地域の絆を普段から強くしていくことが社協には求められています。

杉並区は、まだまだ十分にコミュニティの風が吹いています。杉並社協は今年も、会員の方々、民生委員児童委員そして町会自治会の方々とともに、このコミュニティの風をいたるところで起こし、地域福祉の礎を築いてまいります。今年こそ杉並だけでなく、日本中が喜びの笑顔で満ちあふれる年にしたいものです。



杉並区社会福祉協議会 会長 小林 義明

### 新しい年を迎えて

明けましておめでとうございます。区民の皆さまには健やかに新年を迎えることとお慶び申し上げます。

昨年は、国や自治体、企業、国民の皆さんが東日本大震災の対応に努力した一年でした。2万人近い死者・行方不明者、あたり一面更地と化した海岸線、廃屋・廃車そしてがれきの山々。悲しみ・痛みは関係者に止まらず、日本中に広がりました。あの大地震から一年近くがたとうとしています。今なお一部の地域では生活復興、まちの再生のめどすらつかない状況です。

しかし、そんな中でも秩序・礼節を重んじる被災者の謙虚な姿勢が胸を打ちました。また、全国・全世界から寄せられた善意が暗い心に明りをもしてくれました。世の中には、多くの助け合いの心があふれている、とあらためて思った次第です。

#### 主な記事

- 2面 ● あんしん未来支援事業のご案内
- 3面 ● すぎなみ地域福祉フォーラム 2011 報告
- 平成 24 年度地域福祉活動費助成金のご案内
- 講演会のお知らせ
- なるほどうえるくん
- 4面 ● ささえあう地域福祉の輪

日頃、杉並区社会福祉協議会の事業にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。社協では皆さまに感謝の気持ちを込めて、「杉並社協感謝のつどい」を開催します。今回は、杉並区と友好都市である北海道名寄市を舞台とした映画「星守る犬」を上映します。

#### 開催日

平成24年1月28日(土)

#### 内容

- ① 「名寄市と杉並区の交流について」 杉並区文化交流課長 都筑公嗣氏
- ② 映画「星守る犬」

#### 会場

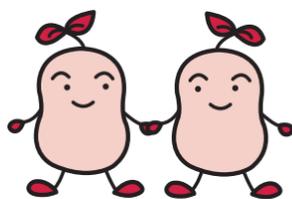
セシオン杉並ホール(杉並区梅里1-22-32) 1200円 ※賛助会員は無料です。

#### 定員

500名(申し込み順、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

#### 申込み

1月10日(火)から1月20日(金)までに 総務係へ電話でお申し込みください。 ※月曜から金曜の午前9時から午後5時 ☎03(5347)1010



# 元気なうちに決める緊急時のあれこれ

## ～あんしん未来支援事業のご案内～



**杉並社協がお手伝いします**

杉並社協では、地域の中での安心安全な生活をサポートするため、杉並区にお住まいで、いざという時に支援する身内がない高齢または身体障害の方を対象に、あんしん未来支援事業を行っています。入院時の支援はどうするか、医療に対してはどういう希望があるか、自宅の保全是どうするか、緊急時の支払等はどうか、いざという時に社協が支援できる内容を話し合っって支援計画や契約書を作ります。

入院時に保証人に準じた支援を行う入院時保証機能をつけたり、死後のことについての決めごとをする場合は公正証書遺言を作り、その時の支援に備えます。遺言書作成の支援もいたします。(相談は無料です。)

### 主なサービスの内容

- 見守りサービス
    - ・定期的な電話連絡や訪問による状況確認
  - いざという時に行える日常生活の支援サービス
    - ・福祉サービスの利用援助(相談・手続き等)
    - ・金銭管理サービス(郵便物の確認や公共料金の支払い等)
    - ・入院時サービス(入院時の必要物品の準備、お届け、医療費の支払い等)
  - 保証機能サービス(預託金が必要です)
    - ・入院時保証機能/葬儀・埋葬手続き支援 等
- ※公正証書遺言について  
 預託金をお預かりする場合は、「公正証書遺言」で預託金の返還先を定めます。  
 作成に当たってはお手伝いします。

### 契約までの流れ

- 1 相談  
↓  
まずはお電話ください。社協においていただくか、ご説明に伺います。
- 2 訪問  
↓  
将来のご希望等を確認しながら支援計画を作ります。いざという時に支援できるよう、介護や医療、終末期についてのご希望を伺いながら、支援の方法を決めていきます。公正証書遺言の作成にも十分な時間が必要です。
- 3 支援計画の作成  
↓
- 4 審査会  
↓  
この契約をすることが、本人にとって有効な支援に結びつくかどうかを外部委員が審査します。
- 5 契約  
↓
- 6 あんしん未来支援事業でのおつきあいのスタートです。



支援が必要になるまでは、1カ月に1回の状況確認と、3カ月に1回の訪問をいたします。将来適切な支援ができるよう、お付き合いがはじまります。

### こんな方が利用できます

支援してくれる親族がいない、杉並区にお住まいの高齢者又は障害者などで、現在は自立していて十分な判断能力がある方

### 利用料金

- 預貯金と収入に応じて利用料金が決まります
- ・月会費(見守りサービス)  
750円～2,000円/月
  - ・緊急時の支援サービス  
1,000円～3,000円/時間(通帳をお預かりする場合は最初の1時間だけ1,500円が加算されます)
- \*例えば月10万円の年金で預貯金が1,000万円未満の場合、月会費750円、緊急時のサービスは1時間あたり1,000円です。
- ☆預託金について  
 杉並区社会福祉協議会が入院や施設入所にあたり保証人に準じたお手伝いをするため、また葬祭費用等のためお預かりします。

### 杉並未来さん(78歳)の場合

未来さんは婚姻歴がなく、子どもがいません。いざという時は弟に頼ろうと常々思っていました。最近転倒し、急に入院することになり、弟と連絡を取ったところ、弟も体調が悪く入院していました。幸い未来さんは骨折を免れ、2週間ほどで退院できましたが、支払いのために銀行に行くことを頼める人がいなくて、苦労しました。弟とも、今後はお互いに頼れないねと話合いました。そんな時、杉並社協の広報を見て、あんしん未来支援事業について知り、相談に行きました。

例えば急に入院した時の支払いや、弟への連絡、医師との相談、また、万が一の時の葬儀やお墓のことなど、いざという時の支援の方法を前もって決め、社協に預ける預託金の返還先や自分の財産をどうするかについて遺言書を作り、あんしん未来支援事業の契約をしました。



**問合せ あんしんサポート係 ☎ : 03 (5347) 1020 FAX : 03 (5347) 2061**



フォーラムの中心となるワークショップでは、3つの分科会に分かれて「地域のつながり」について語り合いました。さらにこの分科会で話し合ったことを共有するために交流の場を設け、4つのグループに分かれて、明日からできる「行動宣言」を発表しました。

すぎなみ地域福祉フォーラム 2011



平成23年12月11日(日) あんさんぶる荻窪において、「すぎなみ地域福祉フォーラム 2011」を開催しました。今年は大災害を乗り越えるために「つながり」をテーマに、「つながり関伝地(かんでんち) (開わる・伝える・地域力)」をキャラクターに掲げました。



行動宣言

- A:「私たちは、コミュニティづくりをします」
- B:「私たちは、杉並を愛するために情報共有の仕組みを作ります」
- C:「私たちは、持続的な交流のために連絡網を作ります!! 春までにおむすび会を開催します」
- D:「私たちは、つながりを深めるために⑥・①・③・②をします」
- ⑥ 愛をこめて① いつでも③ さわやかに② つながろう

その他、阪神淡路大震災をテーマにした映画上映会や非常食の試食、応急手当講座など盛りだくさんの内容で、総来場者数350名と大勢の方々にお越しいただきました。ありがとうございました。

報告書はでき次第、杉並ボランティア・地域福祉推進センターホームページにて公開いたします。

平成24年度 地域福祉活動費助成金のご案内

地域福祉活動費助成金は、歳末たすけあい運動の募金をもとに、世代を超えた「地域でのつながり」をつくるための地域福祉を推進する活動(事業)に助成します。

【対象団体】

杉並区内で地域福祉活動を行っているか又は活動開始を予定している民間非営利団体およびグループ。(営利、政治、思想及び宗教を目的とした団体は対象外となります。)

【対象事業】

地域福祉活動を推進する事業で、特定の組織の会員、構成委員等に限定されない発展性のある事業。

【助成対象期間】

平成24年4月1日(日)から平成25年3月31日(日)までに実施する事業

【助成の種類と助成上限額】

(総額:500万円)

●チャレンジ応援助成(予算)1事業上限50万円

※定例化している事業は含みません。

- ・新規活動の立ち上げ
- ・先駆的活動

●定例活動活性化助成(予算)1事業上限20万円

・既存の活動を活性化するための事業

【申請書の配布】平成24年2月1日(水)から

【申込方法】直接窓口へ

【申請締切】平成24年3月2日(金)午後5時まで(時間厳守)

【問合せ】杉並ボランティア・地域福祉推進センター

☎03(5347)3939

杉並区社会福祉協議会は、災害時に「災害ボランティアセンター」を開設します

被災者を支援する

災害ボランティア

「災害ボランティア」は、大規模な災害が起きた時に、被災者の生活や自立を支援し、また行政や防災関係機関などが行う応急対策を支援する活動を行います。

今年3月に起きた東日本大震災でも、各地で「災害ボランティアセンター」が開設され、既に80万人以上のボランティアが活動したと言われています。

杉並区社会福祉協議会は、杉並区との協定に基づき、大規模な災害が起きた時に、「杉並区災害ボランティアセンター」を開設し、被災者からの困りごとや支援の要望を受け付け、全国から駆けつける災害ボランティアを支

援活動につなげるコーディネートをしています。

杉並区災害ボランティアセンター 設置訓練を行いました



平成23年11月20日(日)に行われた杉並区総合震災訓練に参加し、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練と、ボランティア受け入れ訓練を行いました。訓練では、来場された多くの方々に災害ボランティアの模擬体験をしていただきました。

講演会のお知らせ (杉並社協・杉並区成年後見センター共催)

「後半生のおんしんのために」第2回

— 遺言、相続、成年後見制度 —

講師紹介



弁護士 白石 光征氏  
杉並区法律相談員

杉並社協あんしん未来支援事業  
審査会委員長

日時 平成24年1月23日(月)午後2時30分~4時30分

会場 あんさんぶる荻窪4階 第1・2・3教室

定員 60名(申し込み順)参加ご希望の方は下記までお電話でお申し込みください。

申込期間 1月11日(水)~1月18日(水)

申込先 あんしんサポート係 ☎03(5347)1020

「ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」で表彰されました (全国社会福祉協議会他主催)

大内田 寧子さん

杉並区で、視覚障害児のためのさわる絵本づくりや乳児院での保育ボランティア、高齢者の宅配食事サービスなど長年のボランティア活動に対する功績が認められ「第20回全国ボランティアフェスティバル TOKYO 2011」で表彰されました。



視覚障害者の日常生活を支える盲導犬



盲導犬は、目の不自由な人が安全に歩行できるようにサポートをする、特別な訓練を受けた犬です。仕事中の盲導犬は、ハーネスという胴輪をつけています。

盲導犬ユーザー(使用者)は、ハーネスをにぎり、その動きや傾きで、階段や障害物などの道の状況を判断しています。盲導犬は、カーナビのように目的地を言えば道案内をしてくれるわけはありません。ユーザーは、目的地までの地図を頭の中に描きながら「まっすぐ」「右」「左」などの指示を出します。その指示に従いながら盲導犬は歩きますが、従

わない場合もあります。それは、盲導犬自身が危険だと判断した時です。たとえば、車が来ている交差点で、「すすめ」の指示を出しても決して進みません。また、人間の顔の高さにある障害物(木の枝や看板など)も見逃さず避けて歩きます。

街で盲導犬を見かけたら、なでたり声をかけたりすることはやめましょう。食べ物を見せたり与えたりしてもいけません。ハーネスをつけている時は仕事中のサインでもありますが、盲導犬が集中して仕事に専念できるように、あなたがかく見守ってください。そして、ユーザーが困っている様子の時は「何かお手伝いしましょうか」「何かお困りですか」と声をかけましょう。(高橋)

# ささえあう 地域福祉の輪

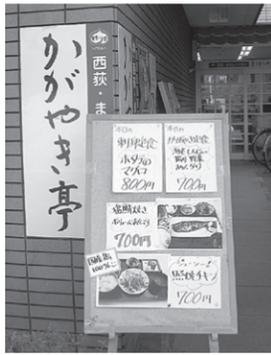


「西荻・まちレストラン かがやき亭」

このまちに暮らす方々が、誰でも気軽に立ち寄って交流できる場所として「かがやき亭」が開店したのは平成22年7月。運営しているのは、住み慣れた地域に安心して暮らし続けるためにはどういう仕組みが必要か、考え行動する地域住民が集まりつくられた「NPO法人ももの会」です。

## 地域に根ざした福祉のまちづくりを目指して

平成12年から始めたデイサービス「桃三ふれあいの家」の運営を通して、介護保険制度の枠に入らない方、地域や家族から孤立し、関係が希薄になった方々が、栄養等の健康管理を十分に行なえていなかった



り、孤食、精神的にも深刻な課題を抱えているところが見えてきました。

そこで、これまでに培った事業運営と年間1700人を超えるボランティアネットワーク、さらに食事作りのノウハウを生かすことで、誰もが集まることができ、友達や生きがいを持てるような場所をつくり、暮らしやすいまちづくりに貢献したいと思ったのが「かがやき亭」開店のきっかけです。

## 人と人をつなぎながら



構想から2年。日ごろ応援してくれている商店会や町会、その他さまざまな方々の有形無形の強い後押しと連携が推進力となり西荻の地にオープン。そこは元お蕎麦屋さんで、食事を提供するには場所も設備も最適。ピアノ、書籍、絵手紙、洋裁など数々の作品が置かれ、ぬくもりが感じられる落ち着いた雰囲気の内装です。毎日来店される方、散歩の途中にふらっと立ち寄りられる方など来店される方はさまざまですが、みな笑顔であいさつを交わされ、初対面でも時に会話が弾みます。

ごはんが出会いを生み、人の輪が趣味活動を行う「午後のお楽しみタイム」や、平日とはちょっと違ったメニューを味わう「土曜ランチ」など、楽しい催しや新しいイベントにつながっています。

今後について、ももの会理事大井さんは「人を思いやったり、励ましあうといった素朴ではあるが大切な行いを見つめなおす場所が必要であると感じています。人と人

**午後のお楽しみタイム**  
13時30分～15時30分  
(月) 囲碁(火) 絵手紙(木) 歌声(金) 手工芸  
参加費はケーキと飲み物付きで500円  
お食事メニュー  
かがやき定食(日替わり) 700円等の他、喫茶もあり。

**営業日・時間**  
月～土曜日 11時30分～16時  
ランチと喫茶  
土曜日晚ごはん 18時～22時

**所在地** 杉並区西荻北4-4-4 三益ビル1階

**電話&FAX** 03(5347)5085

**交通** JR「西荻駅」北口、伏見通りを西へ徒歩7分 バス西荻窪駅より上石神井・吉祥寺・大泉学園行きで2つ目「西荻北4丁目」下車、徒歩2分

## 賛助会員 募集しています

賛助会員とは、杉並社協の理念や事業に賛同し、会費を納めていただくことで財政面から支えてくださる方です。

杉並社協は、地域の福祉課題の解決に取り組んでいますが、営利を目的としないため、皆さまの会費がそのための大切な財源となっています。杉並をよりよいまちにしていくため、皆さまのご協力をお願いします。

**賛助会員会費** 個人会員 年額 1,000円～  
**その他** 施設、団体、地域、企業会員があります。  
**入会方法** 杉並社協の窓口でお申し込みいただくか、ご連絡いただければ郵便振替用紙を郵送いたします。また、民生委員を通じてもご入会いただけます。

**問合せ** 総務係 ☎ 03(5347)1010

おいしいお食事だけでなく、人の出会いや生きがい、楽しみが生まれる、そんな「かがやき亭」に、皆さまも足を運んでみませんか。(取材 平)

## 私たちは杉並の地域福祉活動を応援しています。

遺言などの身近な相談窓口

遺言、尊厳死、任意後見など各種契約書の作成  
定款、外国向け文書ほかの認証など

公正証書に関する相談は無料です。  
お問い合わせは電話でどうぞ!

☎ 3391-7100

JR、地下鉄丸ノ内線 荻窪駅南口前  
**杉並公証役場**  
杉並区荻窪5-27-6(中島第1ビル6階)

高齢者食・介護食・各種治療食・宅配食事サービス

**あなたの健康は、おまかせ下さい**

材料にこだわった手作りの味を是非お試し下さい

献立例(昼食) 昼食 860円

献立例(夕食) 夕食 1,020円

ごはんやあかずの調理方法を体調に合わせて変更できます。また、普通食・加パン・加糖・塩分調整食・リカカ調整食・脂質カット食などお体の状態に合わせて選び頂けます。繊維質や香辛料を抑えた消化の良い柔らかめの軟食もお届けします。まずはお電話でお問い合わせ下さい。

美味しいピロリと栄養バランスを考えた手作りのお食事をお届けします

東京都杉並区南荻窪1-6-11 資料請求はこちらまで  
**お元気宅配 株式会社秀栄** TEL 03-5370-6288  
http://www.shuei.com

## うえるくん <33> レストランで新たな出会いの巻

うえるくんは地域福祉活動の種。彼の名前には、その種を「植える」、福祉を意味する「ウエルフェア」、皆さんと一緒にという気持ちをあらわす「ウエルカム」の3つの想いがこめられています。



ありがとうございました

### 寄附者名簿(敬称略)

平成23年10月1日～平成23年11月30日まで  
(お名前は承諾を得て掲載しています。)

#### <団体>

杉並交通株式会社	100,000円
桜上水商店街会 会長 吉田善四郎	9,762円
ASA西浜田山 高山道雄	8,000円
杉並民謡舞踊連盟 中屋信子	119,325円
あゆむ弁当 三鷹 調布・杉並店	4,563円
日本イエス・キリスト教団荻窪栄光教会	30,000円
久我山東自治会 婦人部	18,400円

#### <匿名>

2件	52,000円
----	---------

## 避難者の皆さまへ

地元紙「福島民報」「福島民友」を閲覧できます

3月11日に発生した東日本大震災で被災し、杉並区に避難している福島県民の方向けに、福島県災害対策本部から地元紙「福島民報」「福島民友」の2紙をお送りいただいています。窓口で閲覧できます。ぜひご利用ください。

**場所:** 社会福祉協議会(あんさんぶる荻窪5階)  
**閲覧時間:** 月曜日から土曜日の午前9時～午後5時(祝日は除く)  
**閲覧できる新聞:** 「福島民報」「福島民友」過去2カ月分程度

## 遺産・香典返しのご寄附をお考えの皆さまへ

ご自分や個人の財産の一部、または「香典返し」に代えて、お香典の一部を広く社会へ役立てたいとお考えの方には、遺産・相続財産の寄附や香典返しに代えた寄附をお願しております。

香典返しのご寄附につきましては、ご相談のうえ、社会福祉協議会がご会葬者さまへのお礼状を作成いたします。

社会福祉協議会へのご寄附については、税制上の優遇措置を受けることができます。詳細は 総務係

☎ 03(5347)1010

取材を通し、人と人とのつながりのあたたかさ(お腹?)も心も満たされました。これからも地域の皆さまの活動をお伝えしていきます。新しい年を迎え、皆様の願いや希望が叶う一年となりますように。(moi)